

林美智子 90 分の『コジ』！



林美智子

メゾソプラノ林美智子のセルフプロデュースによる、モーツァルトの名作『コジ・ファン・トゥッテ』。ソロのアリアを全てカット！アンサンブルのみでお届けするという前代未聞の『コジ』。

贅沢な出演者陣によるとびきり楽しいモーツァルトの世界！

出演は総勢7人！ 美しい姉妹、フィオルディリージとドラベツラを、ソプラノ澤畑恵美と林美智子、その姉妹の恋人であるフェランドとグリエルモを、テノール望月哲也とバリトン黒田博、の四人がおりなす恋の相関図！

老哲学者アルフォンソにバスバリトン池田直樹、そして小間使いデスピーナにソプラノ鶴木絵里を迎え、最高のキャスティングによるアンサンブルで味わう、極上のモーツァルト！ ピアノは卓越した表現力で観客を魅了する河原忠之です。

この公演は、2006 年秋の(財)東京二期会とサントリーホールとの共催公演「モーツァルトで二期会週間」第二夜で行われ好評を博し、その後地方でも披露されているプログラムです。『コジ・ファン・トゥッテ』は全幕を通して上演しますと、通常 3 時間以上かかりますが、歌い手が 1 人で歌うソロ、いわゆる「アリア」を全てカットし、2 人以上で歌う「重唱」のみでエッセンスを楽しめるオリジナルヴァージョンです。歌唱は原語のイタリア語ですが、その歌の間には全て日本語によるセリフが入りますので、オペラを初めてのお客様にも安心して、お聴きいただけます。

～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～

プログラム案 アリアを全てカットした今回のヴァージョンでは約 90 分、休憩を含めましても 2 時間以内におさまります。

* 序曲

* 第 1 幕

私のドラベツラだけはそうじゃない
女の操というものは
美しいセレナードを
妹よ、見てごらん
友よ、お入り ～ ああ、私の足は動いてくれない
美しいまなざしは運命をくるわす
もう一度口づけを
さわやかに風よ吹け
こちらが美しいデスピネッタ
なぜ笑う？
ああ、はかないしあわせ

* 第 2 幕

黒い髪の人が好き
そよ風よ、私の思いをかなえておくれ
あなたのお手を
受けて下さる？あなたにささげた心を
ええ、いいわ
夫の腕の中に
誰でも女をよくは言わない
皆さん大急ぎで
すべての幸せは

演奏形態



この『コジ・ファン・トゥッテ』は、必要なものはピアノと持ち運びのできるイス6脚のみです。
また、林美智子直筆の“人物相関図”を広報段階で取り入れるなど、初めてこのオペラを、またオペラ自体を初めて観る方にもスムーズにご覧いただけるように図っております。
舞台の上だけでなく、会場の客席や通路なども使いながら展開する内容ですので、それぞれのホールに合わせた公演が可能です。

初演時の会場は 432 席。手頃な席数の会場はお客様との一体感が得られ、好評を博しました。
当日、お客様でいらっしやった、ジャーナリストの江川昭子さんもご本人のブログで以下のように書いていらっしやいます。

【江川昭子ジャーナル】内 《Muse たちの部屋》 オペラの真髄を超お手頃価格で楽しむ より 2006 年 10 月 25 日
オペラをやるには金がかかる——多くの人はそう思っている。
だからチケット代が高いのかもしれない——多くの人は、そうあきらめているのではないか。
そんなイメージに便乗してか、「この劇場で(or この演目で or このキャストで)、このお値段?!?!?!」と叫びたくなる、不相应に高額なオペラ上演もある。もっとも、オペラを制作するには、相当にお金がかかるのも事実のようで、主催者は企業や諸団体、公的機関などに頼みまくり、必死に資金を確保しなければならないらしい。
でも、そんなにお金をかけなければ、オペラの楽しさは絶対に味わえないのだろうか？
否！ そう断言できるオペラに行ってきたので、ご紹介したい。(略)

～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～



右から 澤畑恵美、望月哲也、鶴木絵里(上)、黒田博(下)、林美智子、池田直樹、河原忠之
2011 年北九州市立響ホール公演より (写真提供: 北九州市立芸術文化振興財団)

● 出演料はお問合せください。 地方公演の場合、別途旅費・滞在費

〈お問い合わせ〉

株式会社二期会 21

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-25-12 Tel. 03-3796-4711 Fax. 03-3796-4710